



2018年12月11日

報道関係各位

2021年度 学部一般入学試験の新制度決定

上智大学(東京都千代田区、学長:曄道佳明)は、今般、「高大接続改革」をより一層推進するために、2021年度入学者選抜試験より、学部一般選抜(以下、一般入試)の制度を一新します(入試制度の異なる国際教養学部を除く全学部・全学科)。制度変更の柱は、次の2点です。

- 1 全方式において、英語4技能を測定する外部検定試験結果を活用
(TEAPのスコア利用方式、CEFRレベルに応じた得点換算方式)
- 2 「大学入学共通テスト」(英語外部検定試験含む)を導入した選抜方式を新設

新制度では、以下の3方式にて、一般入試を実施します。3つの選抜方式を併用することで、各方式に応じた多様な入学者の受け入れを目指します。

1. 一般入試3方式の概要

【1】TEAPスコア利用型(全学統一日程入試)

事前に受験したTEAPまたはTEAP CBTのスコアおよび本学独自の教科・科目試験の結果で総合的に合否判定を行う選抜方式。

- ◆TEAP/TEAP CBTスコアは、現行の一般入試(TEAP利用型)の出願基準利用から、新方式では合否判定基準利用(得点換算利用)に変更。
 - ◆指定された受験科目が共通していれば、複数の学部・学科の併願が可能。
- ※各学科の受験科目・配点、TEAP/TEAP CBTの得点換算方法は、後日公表します。

【2】学部学科試験・共通テスト併用型

大学入学共通テスト、英語外部検定試験、学部学科独自試験の3つの試験結果で、総合的に合否判定を行う選抜方式。

- ◆現行の一般入学試験(学科別)で行っていた本学独自の教科・科目試験に代えて、大学入学共通テストおよび英語外部検定試験の結果を活用し、基礎的学力および4技能語学力を測定。
 - ◆英語外部検定試験の結果は、CEFRレベルに応じたバンドスコアで得点換算して利用。
外部検定試験は複数の試験を活用。
 - ◆現行の一般入学試験(学科別)の教科・科目試験とは異なり、記述式を含む思考力を問う出題形式とし、文章理解力、論理的思考力、表現力など、より総合的な学力到達度を測定。
 - ◆学部学科独自試験は、学部ごとに試験日程を設定し、4日間(午前・午後)で8学部の入学者選抜を実施。
- ※大学入学共通テストの受験科目・配点、利用可能な英語外部検定試験およびCEFRレベルに応じたバンドスコアによる得点換算方式・配点、学部学科独自試験のサンプル問題は、後日公表します。

【3】 共通テスト利用型

大学入学共通テストおよび英語外部検定試験結果のみで合否判定を行う選抜方式。

◆英語外部検定試験の結果は、CEFRレベルに応じたバンドスコアで得点換算して利用。

◆指定された受験科目が共通していれば、複数の学部・学科の併願が可能。

※大学入学共通テストの受験科目・配点、利用可能な英語外部検定試験およびCEFRレベルに応じたバンドスコアによる得点換算方式・配点は、後日公表します。

2. 「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験、資格・検定等の提出

出願要件として、高校生活において主体的に取り組んだ活動の成果や、留学・海外経験、取得した資格・検定などについて、Web出願時に提出を求めます。ただし、得点化はせず、入学後の学生指導、高大連携に資するための参考資料として活用します。

【参考資料】

■ 一般入試における3方式

2021年度 一般入試方式	大学入学共通 テスト利用 ※1	英語外部検定試験 利用 ※1	本学独自試験 実施 ※2
【1】TEAPスコア利用型 (全学統一日程入試)	×	○ ※TEAP/TEAP CBTスコアを利用	○ ※教科・科目型の出題
【2】学部学科試験・ 共通テスト併用型	○	○ ※CEFRレベルごとに得点化 ※複数の英語外部検定試験 から選択可能とする予定	○ ※記述式を含む 思考力を問う出題
【3】共通テスト利用型	○	○ ※CEFRレベルごとに得点化 ※複数の英語外部検定試験 から選択可能とする予定	×

※1 【2】学部学科試験・共通テスト併用型、【3】共通テスト利用型では、英語の代替として、大学入学共通テストにおける英語以外の外国語科目、および、英語以外の外部検定試験結果での出願も可能とする予定。
ただし、学科により選択言語の指定があります。

※2 一部面接を必須とする学科があります。2段階での選抜とし、第1次試験合格者のみ第2次試験として面接を行い、最終合否判定をします。

報道関係からのお問合せ先: 上智学院広報グループ
電話: 03-3238-3179 Eメール: sophiapr@cl.sophia.ac.jp